

# 電子図書館サービスLibrariE 活用事例

2022.10.17 私立大学図書館協会東地区部会 研修会

文教大学附属図書館 蔵本 祐史



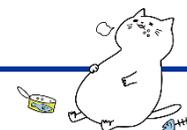
# 当館の電子書籍提供(主なもの)

## 【学術系】

KinoDen / Maruzen eBook Library /  
ebook collection(EBSCOhost) / eBook Central(ProQuest)

## 【読み物系】

LibrariE(文教大学電子図書館) / Infobase



# LibrariEの製品的特長

## 【コンテンツ利用】

△電子書籍プラットフォーム

○電子図書館システム

→貸出を経て、一定期間特定の利用者が資料を占有

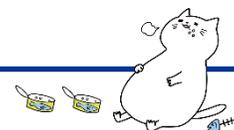
## 【コンテンツ】

・一般和書の収録が豊富

・52回/2年のライセンス契約がメイン (最近は買い切りも)

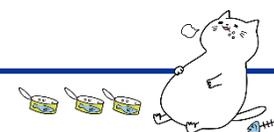
## 【選書】「選書オーダリングシステム」で選書

## 【認証】ID/PWで認証



# 提供開始までの時系列

- 2018.11 越谷・湘南図書館で製品トライアル
- 2019.1.28 本学「文教サポーターズ募金」用途の打診  
当該募金での電子書籍購入を決定
- 2019.2 LibrariE導入決定
- 2019.3-4 準備期間(コンテンツ選定・利用者登録・画面設定)
- 2019.5 「文教大学電子図書館」として学内者に提供開始



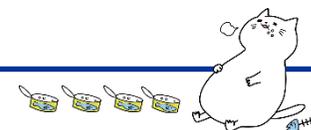
# 導入経費の性格

## 【文教サポーターズ募金】(事業報告書より抜粋)

この募金は学生等の保護者を中心に依頼し、指定の学校に子どもが在籍している間に見えるもの・使えるものの整備・購入に充てることを目的に募ったものである。

## 【寄附金の管理部署からの指定】

- ・テーマを絞ったコンテンツ選定
- ・全学部を対象としたテーマ設定
- ・6月には寄附者向けの報告冊子を作成



# LibrariEを選定した理由

## 【コンテンツ面】

- ・専門的なものよりは教養的なもの/読み物的なもの
- ・すでに導入されている電子書籍と差別化できるもの

## 【アクセス面】

学生の学外からのアクセスの分かりやすさ  
※当館は学認等の統一認証未導入

## 【その他】

- ・コレクション構築と切り離して考えやすい(ライセンス契約)
- ・学生/寄附者への訴求力

# 導入時の検討事項①

## 【認証関連】

LDAP認証 / 図書館システム連携 / 学認 / ローカル認証

→ローカル認証(独自にLibrariEにID/PWを登録)を選択  
準備期間の短さや費用等が理由

※2021年度からは図書館システム連携での認証に移行

## (ローカル認証の課題)

- ・LibrariEで保持する利用者情報の少なさ  
ID / PW / 有効期間 / 利用者グループ / 生年月日 / 性別
- ・利用者情報の更新(特に編入者・年度途中採用者)

# 導入時の検討事項②

## 【図書館システムへの書誌登録】

年度途中でのコンテンツ追加を想定していたため、  
ライセンス切れ資料の管理などの煩雑さから断念  
※図書館システム連携により現在は解消

## 【貸出・予約条件設定】

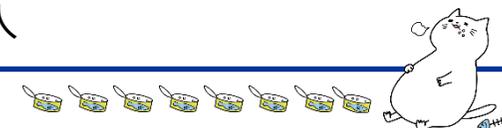
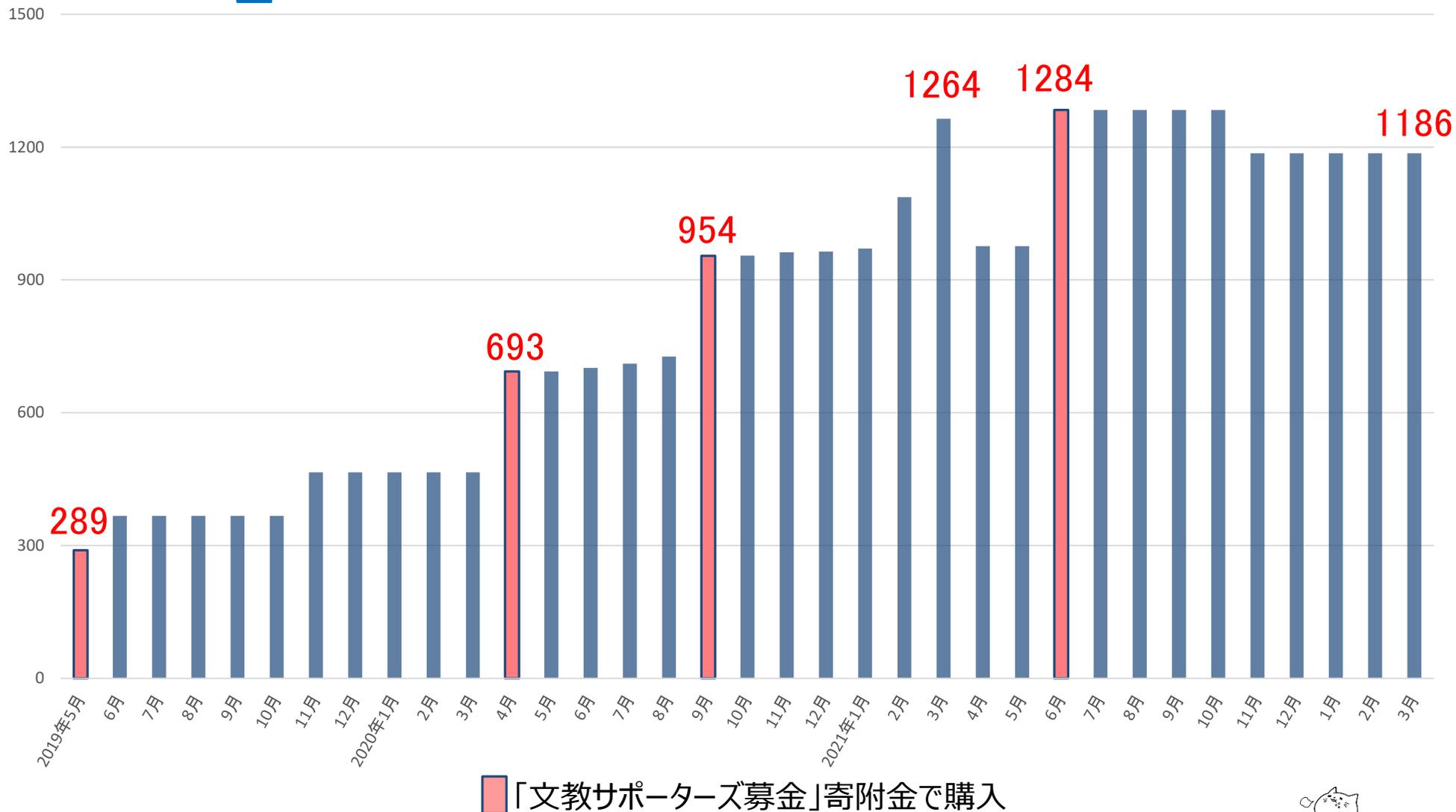
## 【画面設定】

ロゴ・トップ画像の用意、ジャンル・特集の設定

## 【コンテンツ選定】

寄附金管理部署と調整のうえテーマ決定。289点でスタート。

## LibrariE\_閲覧可能コンテンツ数



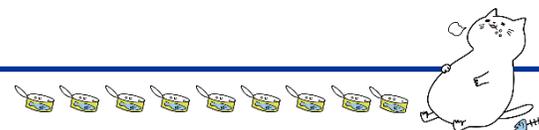
# コロナ禍対応

## 【資料郵送提供の代替】

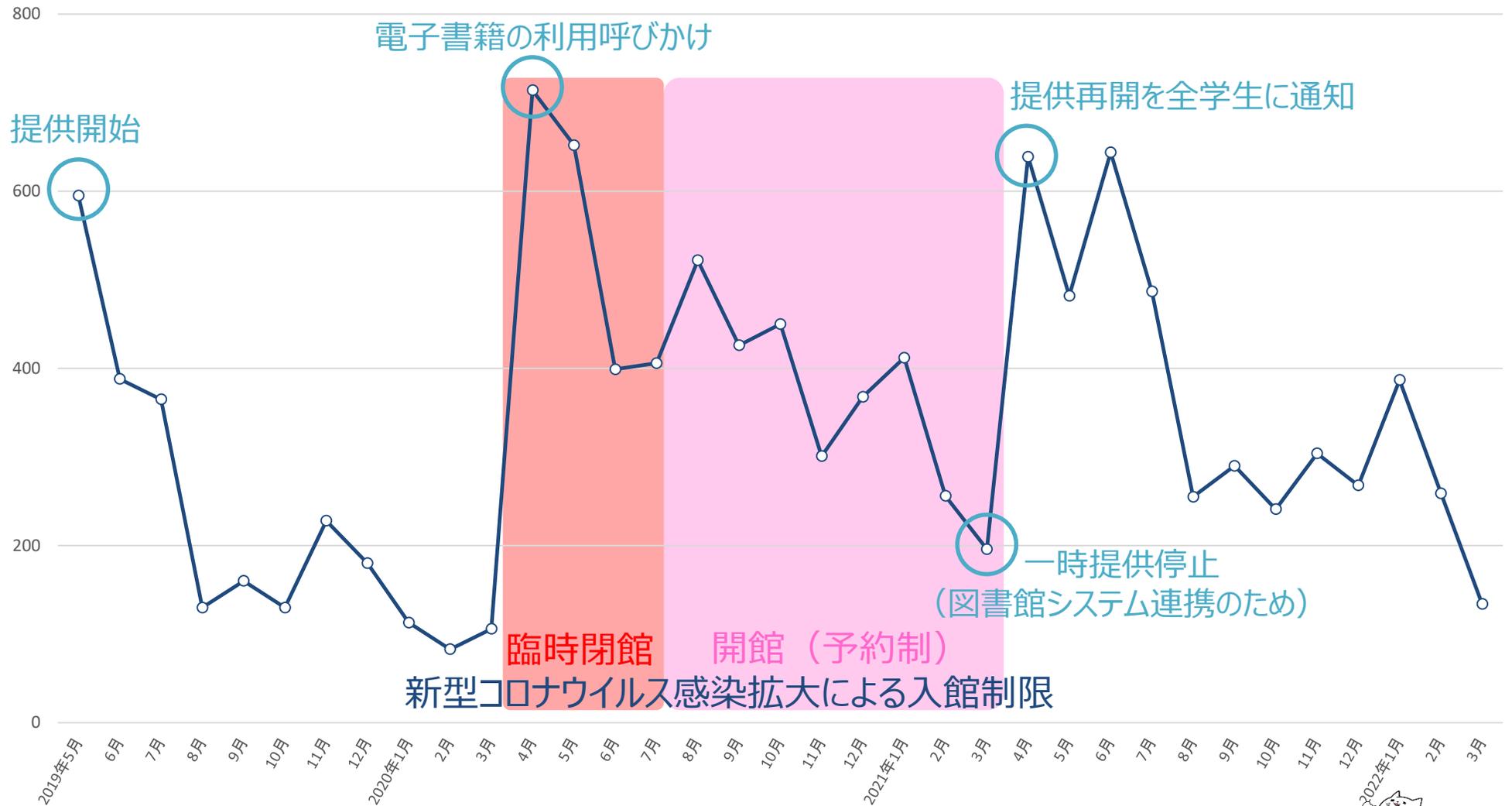
資料郵送提供の業務フローの中に、  
電子書籍(所蔵/非所蔵を問わず)の有無の確認を盛り込み、  
代替可能なものは優先的に電子書籍で提供。

## 【オンライン学生選書】

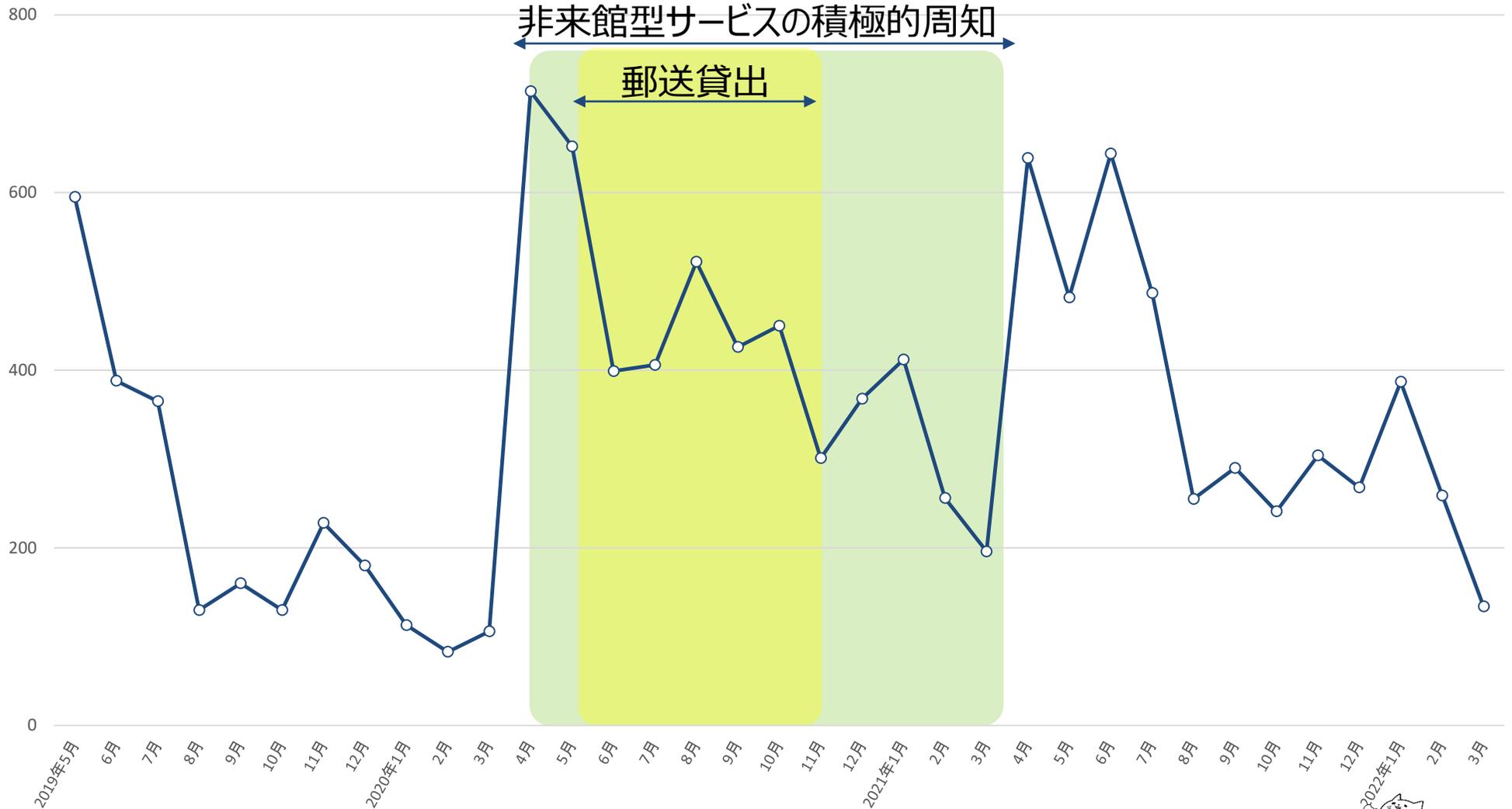
2020年度。湘南・越谷キャンパスで「選書オーダリングシステム」  
を利用した学生選書を実施。



## LibrariE\_ログイン数



## LibrariE\_ログイン数



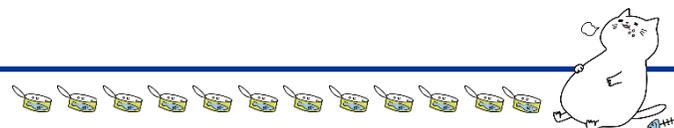
# 本学での学内者広報

## 【B!bb's】

本学学生向けのウェブ情報掲示板

- ・個人/所属単位で情報を通知できる。
- ・通知内容は大学メールアドレスに転送される。
- ・大学からの重要な通知はここに流れる。

広報はB!bb'sをベースに他の媒体を組み合わせることで実施

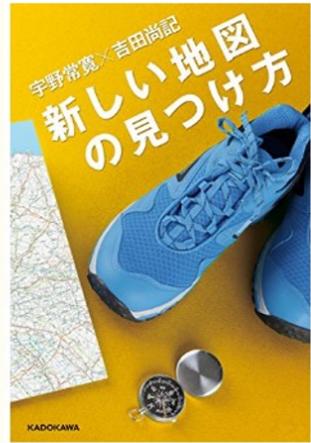


# ポップ

タイトル・書影・QRコードを記載。ポップとして書架に設置。

- ・(東京あだち)開設すぐの空きが目立つ書架に配置
- ・QRコードからすぐにアクセスできる





『新しい地図の見つけ方』

著者：宇野常寛 × 吉田尚記



ページ：168 ページ  
出版社：KADOKAWA  
刊行年：2016 年

「リツイートはやめろ」  
「村上春樹よりドラえもんを読み」  
「ノンポリのオタクであれ」。

批評誌『PLANETS』編集長・宇野常寛と  
ニッポン放送アナウンサー・吉田尚記が、  
新しい世界へ踏み出す方策を語り合う。

文教大学電子図書館  
Bunkyo University Digital Library



# LibrariEの利用シーンを想定しての広報

「スマホでの利用」「図書館の外で」を前提に

- ・館内貸出用充電器にチラシを封入  
→必ずスマホを手にするタイミング
- ・学食の紙ナプキンで宣伝  
→一番スマホを使いそうな場所
- ・図書館エントランス外側への掲示  
→学生の待ち合わせ場所



# その他の工夫（特に導入初年度）

- ・コンテンツ追加は学生の飽きるタイミングで  
→追加のタイミングでB!bb'sに通知
- ・ファーストビューになるべく変化を  
→新着図書や特集の順番の入れ替え、トップページ画像の差し替え
- ・特定の教員・部署への個別連絡  
→英語リーダー、就職関連資料

# 最近の広報展開

- ・大判ポスターの掲示
- ・名刺サイズのポップ配布 (OPAC端末/カウンター)



## 今後の課題

### 【LibrariEについて】

- ・学部・キャンパスによる利用度のばらつき
- ・広報の効果測定  
→ 効率的で継続の容易な広報手段の検討
- ・適切なコンテンツ規模の設定
- ・利用度の目標設定

### 【電子書籍全体について】

- ・統一的な利用者アクセス(特に学外から)





ご清聴ありがとうございました。

個別にお聞きになりたいことがあれば、お問い合わせください。

【文教大学東京あだち図書館 情報サービス係】

Email : [ref@stf.bunkyo.ac.jp](mailto:ref@stf.bunkyo.ac.jp)